



三本桜

第27号

ふかく考える子 あたたかみのある子 がんばりのきく子
12月の目標：交通ルールを守って生活しよう

家族の一員として

いよいよ年末年始の休みとなります。大人も子どもたちも生活リズムが普段とは異なってきます。そのような中、子どもたちには大掃除の手伝いなども大切な経験となります。いろいろな場面で家族の一員という自覚がもてるような、毎日しなければならない役割を与えていただければと思います。生活の中で生かされる「知恵」というものは、学校生活の中ではなかなか経験しづらいものです。よろしくお願いいたします。



懇談会、ありがとうございました

12月16日（月）から19日（木）まで懇談会を行いました。ご多用の中を、ありがとうございました。

学習の到達度、授業中の様子、提出物、係活動、友達関係、冬休みにがんばってほしいことなどから、いくつかを精選してお話をさせていただきました。ただし、限られた時間の中では、十分な話ができなかったかもしれません。何かありましたら、担任、学年主任までご連絡ください。よろしくお願いいたします。



やってみもせんで、何がわかる

先日、自動車販売台数世界7位のホンダと同8位の日産自動車が発行統合に向けた協議を始めたと報じられました。実現すれば、販売台数でトヨタ自動車グループ、ドイツのフォルクスワーゲングループに次ぐ世界3位の巨大グループが誕生することになります。

変革期を迎えている自動車業界は、電気自動車（EV）や自動運転技術の開発などで激しい競争が続いています。世界1位のトヨタグループを含む日本企業はEVで後れをとっており、アメリカ・テスラや中国勢に対して形勢不利な状況です。日本車が今後、世界でどれだけ走ることになるか不安視する声も聞こえてきます。

さて、ホンダの創始者と言えば、本田宗一郎です。その本田宗一郎がよく口にしていた言葉に「やってみもせんで、何がわかる」があります。

失敗を恐れて何もしなければ、そこに進歩は生まれません。たとえ失敗してもそれを乗り越えるところに新たな知恵が生まれてくるものです。臆病な態度でそこに停滞するのは、相対的な退歩ともいえます。ホンダでは行動しない慎重さを厳しく戒める考え方があり、チャレンジ精神や行動を重んじています。

来たる年も、茨の生い茂る未踏の地を自らの手で切り拓き、まだ誰も歩いたことのない新しい道、独自の道を進んでいく子どもを育てていきたいと考えています。